

特定非営利活動法人高木仁三郎市民科学基金 役員報酬・職員給与規定

第1条（目的）

この規定は、特定非営利活動法人高木仁三郎市民科学基金の役員報酬および事務局職員の給与の基準等について定めることを目的とする。

第2条（役員報酬）

この法人は、原則として役員報酬を支給しない。ただし、定款に定める範囲で役員に報酬を支給する場合、該当する役員に対する報酬の金額及び支払い方法については、あらかじめ理事会で決定する。

第3条（事務局職員の給与）

この法人が、事務局職員へ支払う給与は、基本給及び通勤手当で構成される。

- 2 基本給は、本人の経験、技能、職務遂行能力を考慮して各個人ごとに代表理事が決定する時間給とする。
- 3 通勤手当は、本人の住居からこの法人への通勤に必要な実費相当額とする。
- 4 給与は、各月ごとに、本人からの業務実績の報告をもとに計算し、翌月10日までに、各個人の指定する銀行口座への送金の方法によって支払う。
- 5 事務局職員の給与およびその支払いに関して必要な事項は、代表理事が決定する。

第4条（改廃）

この規定の改廃については、理事会で決定する。

附則

この規定は、2016年6月28日から施行する。

特定非営利活動促進法第54条第2項第3号に定める事項を記載した書類

法人名	特定非営利活動法人高木仁三郎市民科学基金	事業年度	2019年4月1日 ~2020年3月31日
-----	----------------------	------	--------------------------

1 資金に関する事項 [①収益の源泉別の明細、借入金の明細その他の資金に関する事項]

※ 丸数字は、特定非営利活動促進法第54条第2項第3号に定める事項の詳細について規定している特定非営利活動

(1) 収益の源泉別の明細

収益源泉の内訳	金額
受取会費	4,930,000 円
受取寄付金	14,234,364 円
助成金収入	1,500,000 円
事業収益	262,100 円
その他収益	301,279 円
引当金取崩収入	14,667,334 円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
	円
合 計	35,895,077 円

(2) 借入金の明細

借入先	金額
該当なし	円
	円
	円
	円
	円
	円
合 計	円

(3) その他

該当なし

支出した寄附金(助成)の明細

受付番号	支出先の名称等	住所等	金額(円)	支出年月日	寄付の目的等(助成テーマ)
【国内向けの助成金送金】					
			200,000	2019/4/19	グアム政府による米軍基地環境汚染調査 — 沖縄県へのインプリケーション
			200,000	2919/10/11	グアム政府による米軍基地環境汚染調査 — 沖縄県へのインプリケーション
			600,000	2019/4/19	コンゴにおける資源探掘と人権侵害の実態調査
			200,000	2919/10/11	コンゴにおける資源探掘と人権侵害の実態調査
			300,000	2019/4/19	福島原発事故による茨城県の放射能長期汚染とその特徴(2)
			100,000	2919/10/11	福島原発事故による茨城県の放射能長期汚染とその特徴(2)
			500,000	2019/4/19	中皮腫患者に対するピアサポート活動と石棉ばく露調査
			500,000	2919/10/11	中皮腫患者に対するピアサポート活動と石棉ばく露調査
			200,000	2019/4/19	家庭用品から大気中に放散されるマイクロプラスチックによる汚染実態調査
			200,000	2919/10/11	家庭用品から大気中に放散されるマイクロプラスチックによる汚染実態調査
			250,000	2019/4/19	河北潟の再汽水化に向けた基礎研究①再汽水化する上での課題の整理
			250,000	2919/10/11	河北潟の再汽水化に向けた基礎研究①再汽水化する上での課題の整理
			200,000	2019/4/19	津波被災地域における「かさ上げ盛土工事」をめぐる市民の論理
			200,000	2019/4/19	宮城県における「原発事故に向き合う市民の記録集」製作プロジェクト
			200,000	2919/10/11	宮城県における「原発事故に向き合う市民の記録集」製作プロジェクト
			200,000	2019/4/19	水俣病患者の生き直しに関する基礎的研究; 生活史調査を通して
			500,000	2019/4/19	伊達市の除染における住民対策についての調査研究ならびに宮崎早野論文の成立の経緯
			500,000	2919/10/15	伊達市の除染における住民対策についての調査研究ならびに宮崎早野論文の成立の経緯
			250,000	2019/4/19	福島第一原発周辺地域の空間および土壌の放射線測定
			250,000	2919/10/15	福島第一原発周辺地域の空間および土壌の放射線測定
			250,000	2019/4/19	太平洋核実験による放射線被災実態を解明し、被災船員救済のための研究をすすめる
			250,000	2919/10/11	太平洋核実験による放射線被災実態を解明し、被災船員救済のための研究をすすめる
			250,000	2019/4/19	福島県飯舘村の村民のための、放射能による村内環境汚染の実態調査
			250,000	2019/4/19	焼却による放射性ごみ処分の問題点調査と環境汚染監視
			250,000	2919/10/15	焼却による放射性ごみ処分の問題点調査と環境汚染監視
			200,000	2019/4/19	沖縄県沖縄市泡瀬干潟の埋立工事に伴う干潟環境・生物相の変化
			200,000	2919/10/11	沖縄県沖縄市泡瀬干潟の埋立工事に伴う干潟環境・生物相の変化
			250,000	2019/4/19	原発労働者の労働安全・補償制度と被曝労働災害の実態に関する国際調査(その3)
			250,000	2919/10/17	原発労働者の労働安全・補償制度と被曝労働災害の実態に関する国際調査(その3)
			200,000	2019/4/22	放射性物質を含む廃棄物最終処分場予定地周辺の住民参加型環境調査
			200,000	2919/10/11	放射性物質を含む廃棄物最終処分場予定地周辺の住民参加型環境調査
			150,000	2019/4/19	輸入遺伝子組換えナタネ輸送路沿道におけるナタネの自生と交雑種に関する調査・研究

支出した寄附金(助成)の明細

受付番号	支出先の名称等	住所等	金額(円)	支出年月日	寄付の目的等(助成テーマ)
【海外への助成金送金】					
			221,652	2019/7/17	地域での知識獲得:セサン下流2水力発電ダムの影響監視
			221,652	2019/8/2	メコンデルタ地域での市民科学パイロットスタディワークショップ
			277,065	2019/8/2	フィリピンの廃棄物アセスメント、ブランド監査の成功事例をプラスチック海洋汚染が深刻なインドネシアへの応用
			273,080	2020/1/15	今も続く葛藤:強制移転に対する長期的なマイナス影響に対するカンボジア地域社会の評価と反応
			218,464	2020/1/15	石膏鉱山開発が及ぼしうる健康・水資源・空気への影響、生活の質の低下、生活基盤の脆弱化について、コミュニティ全体で理解を促進する
			109,232	2020/1/24	研修奨励]社会学博士号のテーマ:リスク社会という文脈におけるトルコの反核運動ーメルスインとシノップを事例にー
			163,848	2020/1/24	市民はエネルギー転換をどう議論していくか。~韓国の地域エネルギー計画における市民参加型手法のメカニズム、効果、課題について~
			273,080	2020/3/10	有害物質汚染が黄河と人々の健康に影響を及ぼす影響 ー中国・甘肅省蘭州市におけるプラスチックの生産・消費・廃棄のマッピングー

認定基準等チェック表 (第3表)

(初葉)

法人名	特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金	チェック欄
-----	-----------------------	-------

- 3 運営組織及び経理に関して次に掲げる基準に適合していること
- イ 従業員の総数のうちに次の者の数の占める割合がそれぞれ3分の1以下であること
- (1) 役員及びその親族等
- (2) 特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等
- ロ 各社員の表決権が平等であること
- ハ 会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けていること、又は帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存について青色申告法人に準じて行われていること
- ニ 支出した金銭の費途が明らかでないものがある等の不適正な経理が行われていないこと

○

イ

区 分	項 目	役員数	最も人数が多い「親族等」のグループの人数	割 合 (②÷①)	最も人数が多い「特定の法人の役員又は使用人である者及びこれらの者の親族等」のグループの人数	割 合 (④÷①)
		①	②	③	④	⑤
①	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	12人	0人	0%	2人	16.6%

(注1) 各欄の人数等は、第3表付表1「役員の状況」から転記してください。

(注2) ③及び④については、小数点以下第2位を切り捨てた数値を記載してください。

(例) 33.333...% → 33.3%

ロ

各社員の表決権が平等である						
上記を証する書類の名称とその内容等						

(注意事項)

- 認定基準等チェック表(第3表)は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時においても記載及び添付する必要があります。その場合、上記ロの記載の必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、添付を省略することができます。

ハ

項 目	④					
会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けている	はい いいえ					
帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存を青色申告法人に準じて行っている	はい いいえ					

④ 該当する項目を○で囲み、監査証明書又は第3表付表2「帳簿組織の状況」を添付してください。

二

項 目	④					
費途が明らかでない支出がある、帳簿に虚偽の記載がある等の不適正な経理の有無	有・無					

(注意事項)

認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、改めて記載する必要はありません。

「認定基準等チェック表」(第3表) 記載要領

項 目	記 載 要 領	注 意 事 項
イの各欄	区分欄の「④」から「⑥」欄には、実績判定期間の各事業年度(又は各年)を記載します。 第3表付表1「役員状況」を記載して、「①」、「②」及び「④」の各欄に該当する人数を転記します。	
ロの各欄	該当する一方を「○」で囲みます。 「上記を証する書類の名称とその内容等」欄には、例えば、「定款(又は会則)第〇条に正会員の表決権(又は議決権)は平等に一票を与えると規定」のように記載します。	
ハの各欄	該当する一方を「○」で囲みます。 なお、「④」から「⑥」については、上記イに記載する各期間(「④」から「⑥」)を示したものです。	① 「会計について公認会計士又は監査法人の監査を受けている」の「はい」に「○」した場合には監査証明書を添付してください。 ② 「帳簿書類の備付け、取引の記録及び帳簿書類の保存を青色申告法人に準じて行っている」の「はい」に「○」した場合には、第3表付表2「帳簿組織の状況」を記載し添付してください。
二の各欄	該当する一方を「○」で囲みます。 なお、「④」から「⑥」については、上記イに記載する各期間(「④」から「⑥」)を示したものです。	

記載要領の補足

○ 二において、「費途が明らかでない支出」とは、法人が費用として支出した金額のうち、その費途を確認することができないものをいい、法人が名目に関わらず支出した金銭でその費途が明らかでないものが、これに当たります。なお、意図的にその支出先を明らかにしない支出がある場合も、当然に「費途が明らかでない支出」があることになり、認定を受けることはできません。

役員 の 状 況

第3表付表1

法人名	特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	申請時
役員数		12人	人	人	人	人	人
(1) 最も人数が多い「親族等」のグループの人数		0人	人	人	人	人	人
(2) 最も人数が多い「特定の法人の役員又は使用人である者並びにこれらの者の親族等」のグループの人数		2人	人	人	人	人	人

役員 の 内 訳										
氏名	住所	職名	続柄等	就任等の状況						就任・退任 年月日
				㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	職	
河合 弘之		代表 理事		○						2001/09/11 就任
高木 久仁子		理事		○						2001/09/11 就任
嶋津 暉之		理事		○						2005/12/26 就任
鈴木 譲		理事		○						2018/6/28 就任
竹本 徳子		理事		○						2015/5/20 就任
平川 秀幸		理事		○						2016/5/28 就任
藤井 石根		理事		○						2003/09/11 就任
細川 弘明		理事		○						2008/06/01 就任
山下 博美		理事		○						2016/9/29 就任
堺 信幸		監事		○						2001/09/11 理事就任 2015/6/29 理事退任 監事就任 2019/6/29 監事退任
中下 裕子		監事		○						2001/09/11 理事就任 2015/2/16 理事退任 監事就任
濱口 博史		監事		○						2019/6/29 就任

(注意事項)

認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類（役員報酬規程等提出書類）に記載した事項について、添付を省略することができます。

認定基準等チェック表 (第4表)

(初業)

法人名	特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金	チェック欄
4 事業活動に関して次に掲げる基準に適合していること		○
イ 宗教活動又は政治活動等を行っていないこと		
ロ 役員等に対し報酬又は給与の支給に関して特別の利益を与えないこと、役員等又は役員等が支配する法人と当法人との間の資産の譲渡等に関して特別の利益を与えないこと、役員等に対し役員を選任その他当法人の財産の運用及び事業の運営に関して特別の利益を与えないこと、及び営利を目的とした事業を行う者、上記イの活動を行う者又は特定の公職の候補者若しくは公職にある者に対し寄附を行わないこと		
ハ 実績判定期間における事業費の総額のうち特定非営利活動に係る事業費の額の占める割合が80%以上であること		
ニ 実績判定期間における受入寄附金総額の70%以上を特定非営利活動の事業費に充てていること		

イ

項 目	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	申請時
宗教の教義を広め、儀式を行い、及び信者を教化育成する活動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対する活動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
特定の公職の候補者若しくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対する活動	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

ロ

項 目	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	申請時
役員の職務の内容、職員に対する給与の支給の状況、当法人とその活動内容及び事業規模が類似する他の法人の役員に対する報酬の支給の状況等に照らして、当法人の役員に対する報酬の支給として過大と認められる報酬の支給その他役員等に対し報酬又は給与の支給に関して特別の利益の供与の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
役員等又は役員等が支配する法人に対しその対価の額が当該資産のその譲渡の時における価額に比して著しく過少と認められる資産の譲渡その他役員等又は役員等が支配する法人と当法人の間の資産の譲渡等に関して特別の利益の供与の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
役員等に対し役員を選任その他当法人の財産の運用及び事業の運営に関して特別の利益の供与の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
営利を目的とした事業を行う者及びイの活動を行う者又は特定の公職の候補者若しくは公職にある者に対する寄附の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

(注意事項)

- 「認定基準等チェック表 (第4表)」は、法第55条第1項に基づく書類 (役員報酬規程等提出書類) の提出時においても記載及び添付する必要があります。その場合、「認定基準等チェック表 第4表 (次業) (ハ及びニ)」の記載及び添付の必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、法第55条第1項に基づく書類 (役員報酬規程等提出書類) に記載した事項について、添付を省略することができます。

認定基準等チェック表 (第5表)

法人名	特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金	チェック欄
5 次に掲げる書類について閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除きこれをその事務所において閲覧させること		○
イ 特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等、役員名簿及び定款等 ロ 各認定基準等に適合する旨及び欠格事由に該当しない旨を説明する書類 ハ 寄附金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載した書類 ニ 役員報酬又は職員給与の支給に関する規程 ホ 収益の明細その他の資金に関する事項、資産の譲渡等に関する事項、寄附金に関する事項その他一定の事項等を記載した書類 ヘ 助成の実績並びに海外送金等の金額及び使途並びにその予定日を記載した書類		
次に掲げる書類について閲覧の請求があった場合には、正当な理由がある場合を除きこれをその事務所において閲覧させることに同意する。		同意
※閲覧に関する細則(社内規則)等がある場合には、その細則(社内規則)等を添付してください。		<input checked="" type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
イ	① 事業報告書等(事業報告書、財産目録、貸借対照表、活動計算書、年間役員名簿、社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記した書面) ② 役員名簿 ③ 定款等(定款、認証書の写し、登記事項証明書の写し)	
ロ	各認定基準等に適合する旨を説明する書類、欠格事由に該当しない旨を説明する書類	
ハ	寄附金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載した書類	
ニ	前事業年度の役員報酬又は職員給与の支給に関する規程	
ホ	次の事項を記載した書類 ① 収益の源泉別の明細、借入金の明細その他の資金に関する事項 ② 資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他その内容に関する事項 ③ 次に掲げる取引に係る取引先、取引金額その他その内容に関する事項 ・ 収益の生ずる取引及び費用の生ずる取引のそれぞれについて、取引金額の多い上位5者との取引 ・ 役員、社員、職員若しくは寄附者又はこれらの者の配偶者若しくは三親等以内の親族又はこれらの者と特殊の関係のある者との取引 ④ 寄附者(役員、役員の配偶者若しくは三親等以内の親族又は役員と特殊の関係のある者で、当該法人に対する寄附金の額の事業年度中の合計額が20万円以上であるものに限る。)の氏名並びにその寄附金の額及び受領年月日 ⑤ 給与を得た職員の総数及び当該職員に対する給与の総額に関する事項 ⑥ 支出した寄附金の額並びにその相手先及び支出年月日 ⑦ 海外への送金又は金銭の持出しを行った場合(その金額が20万円以下の場合に限る。)におけるその金額及び使途並びにその実施日	
ヘ	① 助成金の支給を行った場合に事後に所轄庁に提出した書類の写し ② 海外への送金又は金銭の持出し(その金額が20万円以下のものを除く。)を行う場合には事前に又は災害に対する援助等緊急を要する場合には事後に所轄庁に提出した書類の写し	

(注意事項)

- ・ 認定基準等チェック表第5表は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時に記載及び添付する必要があります。
- ・ 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、添付の必要はありません。

認定基準等チェック表 (第6、7、8表)

法人名	特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金
-----	-----------------------

認定基準等チェック表 (第6表)

6 実績判定期間を含む各事業年度の特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等及び役員名簿並びに定款等を同法第29条の規定により所轄庁に提出していること	チェック欄			
特定非営利活動促進法第28条に規定する事業報告書等及び役員名簿並びに定款等の所轄庁への提出の有無				
a	b	c	d	e
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

認定基準等チェック表 (第7表)

7 法令又は法令に基づいてする行政庁の処分に違反する事実、偽りその他不正の行為により何らかの利益を得、又は得ようとした事実その他公益に反する事実がないこと	チェック欄				
○					
法令に違反する事実、偽りその他不正の行為により何らかの利益を得、又は得ようとした事実その他公益に反する事実の有無					
a	b	c	d	e	申請時
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
⑩ 認定基準等チェック表(第7表)は、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時に記載及び添付する必要があります。					

認定基準等チェック表 (第8表)

8 申請書を提出した日を含む事業年度の初日において、その設立の日以後1年を超える期間が経過していること	チェック欄
事業年度	設立年月日

(注意事項)

- 法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)の提出時に当たっては、認定基準等チェック表(第6表及び第8表)は、記載する必要はありません。
- 認定の有効期間の更新の申請に当たっては、認定基準等チェック表(第6表及び第8表)の記載の必要はありません。また、法第55条第1項に基づく書類(役員報酬規程等提出書類)に記載した事項について、改めて記載する必要はありません。

欠格事由チェック表

法人名	特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金	チェック欄
認定、仮認定又は認定の有効期間の更新の基準にかかわらず、次のいずれかの欠格事由に該当する法人は認定、仮認定又は認定の有効期間の更新を受けることができません。 1 役員のうち、次のいずれかに該当する者がある場合 イ 認定特定非営利活動法人が認定を取り消された場合又は仮認定特定非営利活動法人が仮認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該認定特定非営利活動法人又は当該仮認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しないもの ロ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者 ハ 特定非営利活動促進法若しくは暴力団員不当行為防止法に違反したことにより、若しくは刑法204条等 <small>(注1)</small> 若しくは暴力行為等処罰法の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律に違反したことにより、罰金刑に処せられ、その執行が終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者 ニ 暴力団の構成員等 <small>(注2)</small> 2 認定又は仮認定を取り消されその取消しの日から5年を経過しない法人 3 定款又は事業計画書の内容が法令等に違反している法人 4 国税又は地方税の滞納処分の執行がされているもの又は当該滞納処分の終了の日から3年を経過しない法人（認定、仮認定及び認定の有効期間の更新の申請時には、所轄税務署長等から交付を受けた納税証明書「その4」並びに関係都道府県知事及び市区町村長から交付を受けた滞納処分に係る納税証明書の添付が必要となります）。 5 国税に係る重加算税又は地方税に係る重加算金を課された日から3年を経過しない法人 6 次のいずれかに該当する法人 イ 暴力団 ロ 暴力団又は暴力団の構成員等の統制下にある法人		○

1	役員のうち、次のいずれかに該当する者の有無	
イ	認定特定非営利活動法人が認定を取り消された場合又は仮認定特定非営利活動法人が仮認定を取り消された場合において、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内に当該認定特定非営利活動法人又は当該仮認定特定非営利活動法人のその業務を行う理事であった者でその取消しの日から5年を経過しない者の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無
ロ	禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無
ハ	特定非営利活動促進法若しくは暴力団員による不当行為防止法に違反したことにより、若しくは刑法第204条等若しくは暴力行為等処罰法の罪を犯したことにより、又は国税若しくは地方税に関する法律に違反したことにより、罰金刑に処せられ、その執行が終わった日又はその執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無
ニ	暴力団の構成員等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無

2	認定又は仮認定を取り消されその取消しの日から5年を経過しない法人	はい・ <input type="checkbox"/> いいえ
---	----------------------------------	----------------------------------

3	定款又は事業計画書の内容が法令等に違反している法人	はい・ <input type="checkbox"/> いいえ
---	---------------------------	----------------------------------

4	国税又は地方税の滞納処分の執行がされているもの又は当該滞納処分の終了の日から3年を経過しない法人	はい・ <input type="checkbox"/> いいえ
添付書類	認定、仮認定又は認定の有効期間の更新の申請時に、上記4に係る所轄税務署長等から交付を受けた納税証明書「その4」並びに関係都道府県知事及び市区町村長から交付を受けた滞納処分に係る納税証明書を添付すること (注1) その他の事務所がある場合は、その他の事務所所在の滞納処分に係る納税証明書も添付すること (注2) 役員報酬規程等提出書には添付不要	

5	国税に係る重加算税又は地方税に係る重加算金を課された日から3年を経過しない法人	はい・ <input type="checkbox"/> いいえ
---	---	----------------------------------

6	次のいずれかに該当する法人	
イ	暴力団	はい・ <input type="checkbox"/> いいえ
ロ	暴力団又は暴力団の構成員等の統制下にある法人	はい・ <input type="checkbox"/> いいえ